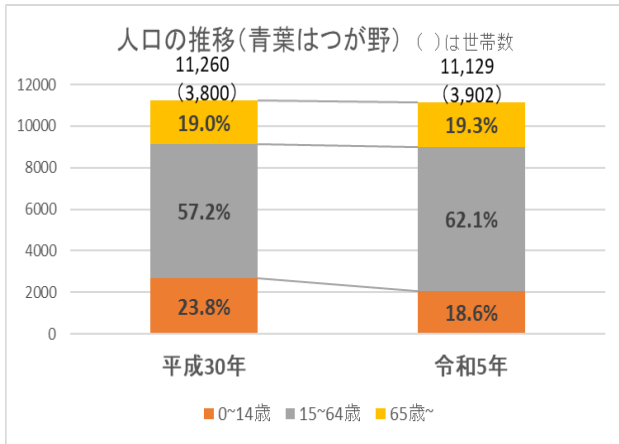


青葉はつが野校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	4
	校区社協役員数	11
	校区社協ボランティア数	58
	民生委員・児童委員数	10
	老人クラブ会員数	458
	認知症サポーター数	3
	おたがいさまサポーター数	13
	高齢者見守り協力事業所数	1
	子ども食堂(子どもの居場所)数	1
自主防災組織の有無	有	
対象者数	ふれあい訪問利用者数	0
	誕生月訪問利用者数	110
	避難行動要支援者登録数	66

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買物が便利なまち	
2.困りごとの相談窓口がわかりやすいまち	
2 みんなが集まれるイベントやお祭りがあるまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.いつでも自由にボールなどで遊べる場所	1.自由に使える友だちとのたまり場所
2.高齢者の経験や強みを生かせる場所	2.雨の日でも遊べる場所
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.インターネットが使えるしせつ
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.災害ボランティア	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2 高齢者の地域での見守り訪問	2.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
2.地域や世代を問わない誰もが食を通じて集える場づくり	3. 年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
2.子ども食堂	

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 地域情報ネットワークの構築が必要だ。
- ❖ 「ひとりではない」、他人(ひと)と「伴走」することの大切さ。
- ❖ 参加自由、不参加自由の〈緩やかな組織〉、〈ゆるやかな活動〉が必要だ。大きなイベントではなく、小さなイベントを大切に。

青葉はつが野校区 新たな出発に向けて

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 話し合いの場づくり（情報共有）

【具体的な取り組み】

- 現行のリーダー会議のメンバーが中心となり、テーマごとに、広く関係機関に参加を呼びかけ、定期的な意見交換、情報交換を実施する。
- 対面での交流とともに、SNS を活用した多様な情報交換を実施する。
- 高齢者の孤立を防ぐために、地域に則した見守り活動の在り方を検討する。

重点取り組み②

【目 標】 地域活動の活性化

【具体的な取り組み】

- 現行リーダーがそれぞれ個別に「懇親会」を開催し、それを通じてボランティアを獲得する。
- ボランティアとして、若い世代、地元大学生に参加を働きかける。
- ボランティアの定着のために関係者の情報共有を充実する。

重点取り組み③

【目 的】 世代間の交流を後押しできるまちづくり

【具体的な取り組み】

- それぞれが実施する事業に必ず「世代間交流」プログラムを企画し、少なくとも年 1 回の実施に努力する。
- 子育てサロンに「先輩ママ」「爺」「婆」も参加し、世代交流を図る。
- 小さな子どもを持つママやパパの子育てを支援する「子育てサロン」を引き続き開催する。

